



表情豊かな淡路人形の頭を展示



▲上田さんは「顔の表情を出すのが最も難しい」といいます

淡路人形浄瑠璃の頭が淡路人形浄瑠璃資料館で展示されています。出品しているのは、上田泰博さん(賀集)が所属する「洲本木偶づくりサークル」の作品44点。戎や、角が生える仕掛けの姐ごなどが展示されています。

淡路人形浄瑠璃資料館

同サークルは淡路文化資料館の講座で人形づくりを学び、講座終了後も上田さんを含む3人で人形を制作しています。桐の木を掘り形を整え、貝殻の粉などを使って塗装し、頭を仕上げます。同サークルが作った頭は、2月に行われた淡路人形座の復活公演でも使用されました。

上田さんは、「人形の表情でそれぞれの個性を感じてほしい。これからは人形の表情

だけではなく、操作性のよい頭を作っていきたい」と笑顔で話していました。



▲洲本木偶づくりサークルの展示は5月15日まで開催(詳細は20頁)

「川をきれいに」、児童が大日川で清掃活動

三原志知小3年生以上の児童18人



▲清掃には3~6年生が参加。大日川は、児童の通学路にある地域の身近な川で、今後も活動を続けていきたいとしています

三原志知小児童18人が3月9日、大日川の河原で清掃活動を行いました。5・6年生の総合的な学習の時間の一環で、川の水質や生き物を調査する環境学習から始まった清掃は、今年で4回目。保護者へのチラシのほか、児童がCATVの音声告知放送で地域に呼びかけて行いました。この日、1時間かけて集め

たのは燃えるゴミ15袋と燃えないゴミが4袋、粗大ゴミが1山。ポイ捨てや上流から流れてきたものなど、多種多様なゴミが集まりました。5年生の別所愛珠香さんと村上静菜さんは、「川には、自転車のタイヤやホース、田んぼで使う袋のゴミも落ちていた。綺麗になつてほしい」と話していました。

▲ゴミを運ぶ児童たち

巨大な根株、従来の面影を残す

千手の松



▲現在も保存されている根株。「子どもの頃はよく木に登って遊んだものです。子どもの遊園地みたいなものでした」と思い出を語る奥井さん

昭和52年に枯死天然記念物指定解除となった千手の松の根株が、賀集野田地区に保存されています。同松は樹齢850年余りと推定され、当時は幹周6・7m、樹高18mで枝が四方に伸び、千手観音が手を広げたような壮大な雄姿と樹勢で、多くの人に親しまれてきました。大正15年には、国の天然記念物に指定され、千手の松保存会の人たちを中心に管理されました。しかし、昭和50年ごろから松くい虫や白アリの影響で徐々に衰えはじめ、葉が赤茶色に変色。昭和52年には天然記念物指定も解除され、11月

に伐採されました。根株は、従来の面影を後世に残すため、保存会によって屋根付きの囲いで覆い、雨が当たらないよう保存されています。保存会の奥井佳史会長(賀集)は「以前は、松の下で夏祭りを開催し盆踊りをするなど、地域の人たちの憩いの場となっていました。松が失われてしまったのは残念ですが、私たちが心の中心に思い出すはずと残っています」と話していました。

▲昭和40年代の千手の松

日帰りモニターツアーで旅行会社にPR

南あわじの観光・食・体験情報を発信

観光ボランティアガイド「国生みの里」が南あわじ市の観光や食、体験を案内する日帰りモニターツアーを3月4日、旅行会社を対象に行いました。

ツアー参加者は神戸などの旅行会社関係者ら3人で、おのころ島神社やうずしおなどを見学。ガイドの堀井裕右さんが、国生み神話やうずしお

巡りながら説明しました。参加者は、「ガイドの説明があつて興味深く、楽しく訪問できました。ガイドを取り入れたツアーを組んでみたい」と話していました。

その後、ツアーでは淡路人形浄瑠璃鑑賞や瓦作り体験をし、慶野松原を散策。ガイドに同行した市の観光振興担当者も、「今後も旅行会社に情報発信を継続し、南あわじ市



▲うずしお観潮船に乗って、ガイドが案内しました

震災支援を願い義援金

神代地区の祭礼団

東日本大震災の復興を支援しようと3月14日、神代地区11集落の祭礼団が社会福祉協議会を通じて義援金11万円を送りました。

檀尻9台と獅子舞2体を持つ神代地区では、3月13日に神代八幡神社春例大祭を開催。メディアで震災の報道がされる中、祭礼団から「被災地への支援をすべき」との声が上がり、各集落から集めた御花の一部を義援金として寄附しました。



▲各集落から集まった檀尻は、担ぎ手が祇園囃子を口ずさみながら、神代八幡神社と鎮守八幡社の間約1kmを列をなして練り歩きました

おめでとう

水泳全国大会出場

◆全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会
中尾 玲華さん(須磨学園高)
※出場が決まっていたが、東日本大震災のため、3月27日に予定していた大会は、中止となりました。

スポーツ賞

南あわじ市スポーツ賞表彰式が3月6日に開催され、平成22年に優秀な成績を取った人や永年にわたり、スポーツの普及・振興に貢献された93人の方々に各賞が贈られました。

◆功労賞
山口 勇さん(市)
斉藤 茂さん(八木)
◆優秀指導者賞
村上 洋一さん(潮美台)
浅井 和弘さん(松帆)
江本 典隆さん(北阿万)
◆優秀選手賞 78人
◆奨励賞 10人

社会福祉協議会がホームページを開設

社会福祉協議会が新たにホームページを開設しました。ホームページでは福祉事業やボランティア募集、福祉用品の購入補助、広報わかばなど、利用者が使いやすいようにカテゴリー分けをして掲載しています。

社会福祉協議会ホームページ URL
<http://www.minamiawaji-shakyo.or.jp/>



▲社協の平見明子さんは、福祉情報を随時発信していきたいと話します

